

名古屋大学の講師対応報告



名古屋自然保護官事務所は、12月1日に名古屋大学の学生が稻永ビジターセンターに来館した際の講師対応を行いました。

名古屋大学の共通教育の理系教養科目「動植物の科学」では、人間が動植物に与える影響や生物多様性の保全方法について講義をしているそうです。今回、この講義を受講している学生が、講義の一環として藤前干潟の歴史と生物多様性を学ぶために稻永ビジターセンターを訪れてくれました。

今回は、講義、館内見学、野鳥観察というスケジュールで藤前干潟について知ってもらいました。講義では、「藤前干潟の歴史と生物多様性」というタイトルとし、主に藤前干潟が保全された経緯や生息する生き物の紹介をスライドを用いて行いました。その後、稻永ビジターセンター内の展示見学を行い、最後に名古屋市野鳥観察館にて望遠鏡で野鳥観察を行いました。当日は残念ながら、カモはあまり見ることができなかつたですが、カワウの大群やハマシギの小さな群れを見ることができました。



* 講義の様子（上）と野鳥観察の様子（下）

◆概要◆

実施日時：平成24年12月1日（土）13:00～15:00
場所：稻永ビジターセンター、名古屋市野鳥観察館
対象：大学2年生等（計7名）
対応：名古屋自然保護官事務所職員2名

◆来館スケジュール◆

時間	内容	場所
13:00～	講義	稻永ビジターセンター
14:00～	館内見学	稻永ビジターセンター
14:30～	野鳥観察	名古屋市野鳥観察館
15:00	終了・解散	

◆講義内容◆

タイトル	藤前干潟の歴史と生物多様性
1. 干潟とは 2. 藤前干潟を紹介した映像鑑賞 3. 藤前干潟の位置 4. 藤前干潟の歴史 5. ラムサール条約とは 6. 藤前干潟の生物多様性 ・生息する生き物の紹介 ・鳥類のくちばしから見た多様性 7. 課題と保全活動 8. まとめ 藤前干潟の価値とは	

名古屋自然保護官事務所では、藤前干潟などの生き物のおもしろさや、大切さ、環境保全へ興味を抱くきっかけとなるような出前講座を行っていきたいと思います。興味関心のある方は、**名古屋自然保護官事務所**まで気軽にお問い合わせください。

■名古屋自然保護官事務所■

TEL : 052-389-2877 FAX : 052-389-2878

MAIL : WB-NAGOYA@env.go.jp

* 藤前干潟のHP

<http://chubu.env.go.jp/wildlife/fujimae/index.html>

2012年12月3日

名古屋自然保護官事務所 アクティブ・レンジャー 野村